

第129回 岐阜市管内景況調査報告書(平成24年7～9月期)

【調査要領】

- 1 対象期間 平成24年7～9月、平成24年10～12月期の見通し(平成24年9月1日時点の調査)
- 2 調査方法 岐阜商工会議所経営支援員の実訪による
- 3 調査対象 岐阜市内の中小企業106社(回答数99社、回収率93.4%)
- 4 D I 値 景気動向を現す景気早見表(「増加・好転」－「減少・悪化」)

管内景況の概要(業種全体)

今期(平成24年7～9月期)の管内中小企業の景況を見ると、資金繰りDIで改善するが、他の項目はマイナス幅が拡大した。

来期(平成24年10～12月期)の景況予想は、資金繰りDIでマイナス幅が拡大するが、他すべての項目でマイナス幅が縮小する見通し。

全業種

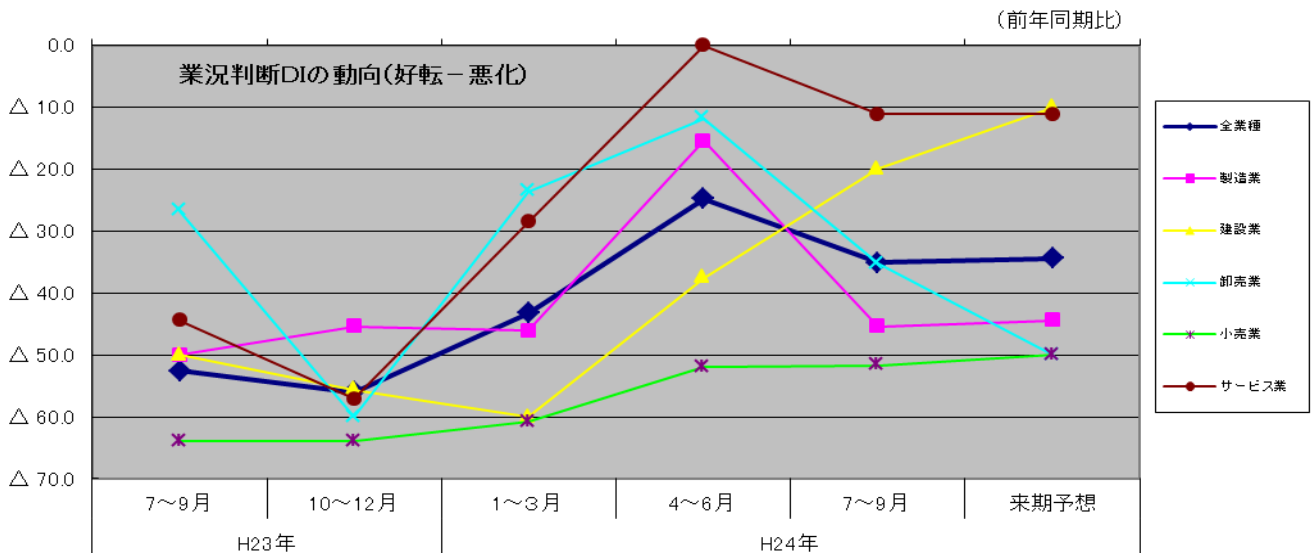
	(前年同期比)					
	業況判断	売上額	在庫	経常利益	資金繰り	従業員
23年 7～9実績	△ 52.6	△ 50.6	△ 33.4	△ 59.3	△ 45.5	△ 1.5
10～12実績	△ 56.0	△ 46.3	△ 24.0	△ 59.0	△ 40.8	△ 6.3
24年 1～3実績	△ 43.2	△ 43.5	△ 32.8	△ 53.1	△ 37.9	△ 6.1
4～6実績	△ 24.8	△ 24.8	△ 25.0	△ 41.8	△ 39.2	△ 3.5
7～9実績	△ 35.1	△ 37.0	△ 41.0	△ 42.4	△ 27.9	△ 4.6
10～12予想	△ 34.4	△ 32.3	△ 37.7	△ 40.8	△ 34.4	△ 3.6

1. 業況

全業種のDI値は、△35.1と前期(△24.8)に比べると10.3ポイントマイナス幅が拡大した。来期は、今期よりマイナス幅が縮小すると予想される。

業種別でみると、建設業で大幅な改善がみられる。来期は卸売業のマイナス幅が大幅に拡大するが、製造業・建設業・小売業でマイナス幅が縮小する見通し。

	業況判断DI(「好転」-「悪化」)				(前年同期比)	
	H23年 7～9月	10～12月	H24年 1～3月	4～6月	7～9月	来期予想
全業種	△ 52.6	△ 56.0	△ 43.2	△ 24.8	△ 35.1	△ 34.4
製造業	△ 50.0	△ 45.4	△ 46.1	△ 15.4	△ 45.4	△ 44.4
建設業	△ 50.0	△ 55.6	△ 60.0	△ 37.5	△ 20.0	△ 10.0
卸売業	△ 26.7	△ 60.0	△ 23.6	△ 11.8	△ 35.3	△ 50.0
小売業	△ 64.0	△ 64.0	△ 60.8	△ 52.0	△ 51.7	△ 50.0
サービス業	△ 44.4	△ 57.1	△ 28.5	0.0	△ 11.1	△ 11.1



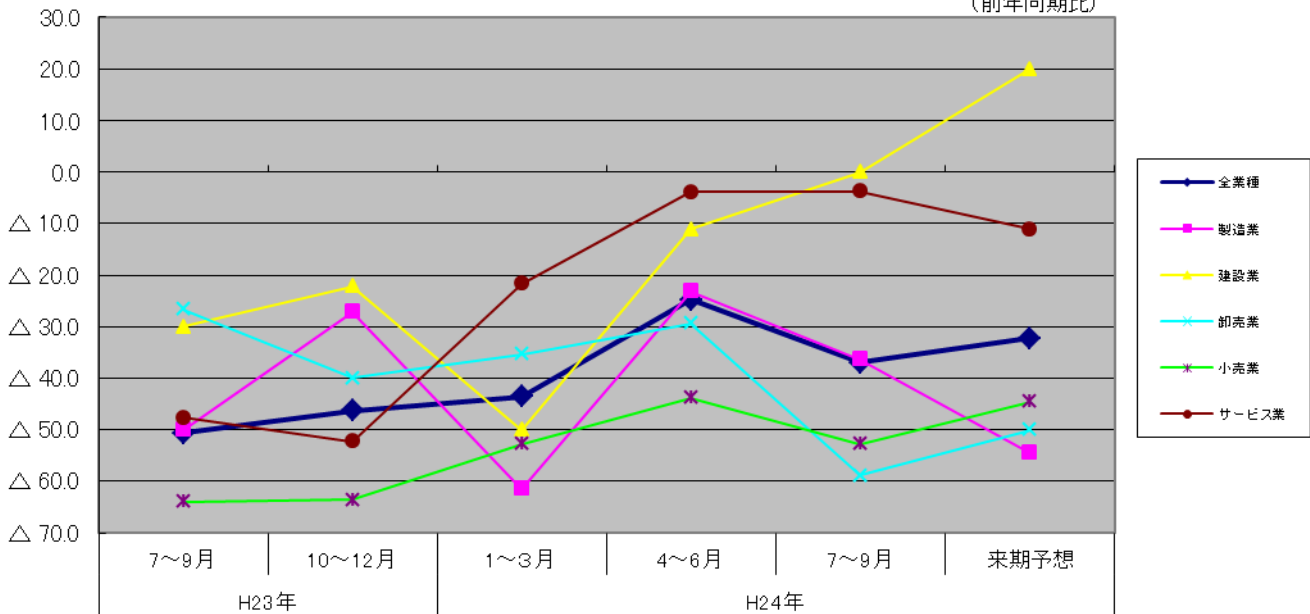
2. 売上(加工)額

全業種の DI 値は、△37.0と前期(△24.8)と12.2ポイントマイナス幅が拡大した。来期は、マイナス幅が縮小する見通し。

業種別では、サービス業でマイナス幅が縮小し改善がみられるが、来期は製造業・サービス業を除く全ての業種で改善する見通し。特に、建設業はプラスに転じる見込み。

	売上額DI(「増加」-「減少」)				(前年同期比)	
	H23年		H24年		7~9月	来期予想
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月		
全業種	△ 50.6	△ 46.3	△ 43.5	△ 24.8	△ 37.0	△ 32.3
製造業	△ 50.0	△ 27.2	△ 61.5	△ 23.1	△ 36.3	△ 54.5
建設業	△ 30.0	△ 22.2	△ 50.0	△ 11.1	0.0	20.0
卸売業	△ 26.6	△ 40.0	△ 35.3	△ 29.4	△ 58.8	△ 50.0
小売業	△ 63.9	△ 63.6	△ 52.8	△ 43.8	△ 52.8	△ 44.5
サービス業	△ 47.6	△ 52.2	△ 21.7	△ 3.9	△ 3.7	△ 11.1

売上額DIの動向(「増加」-「減少」)



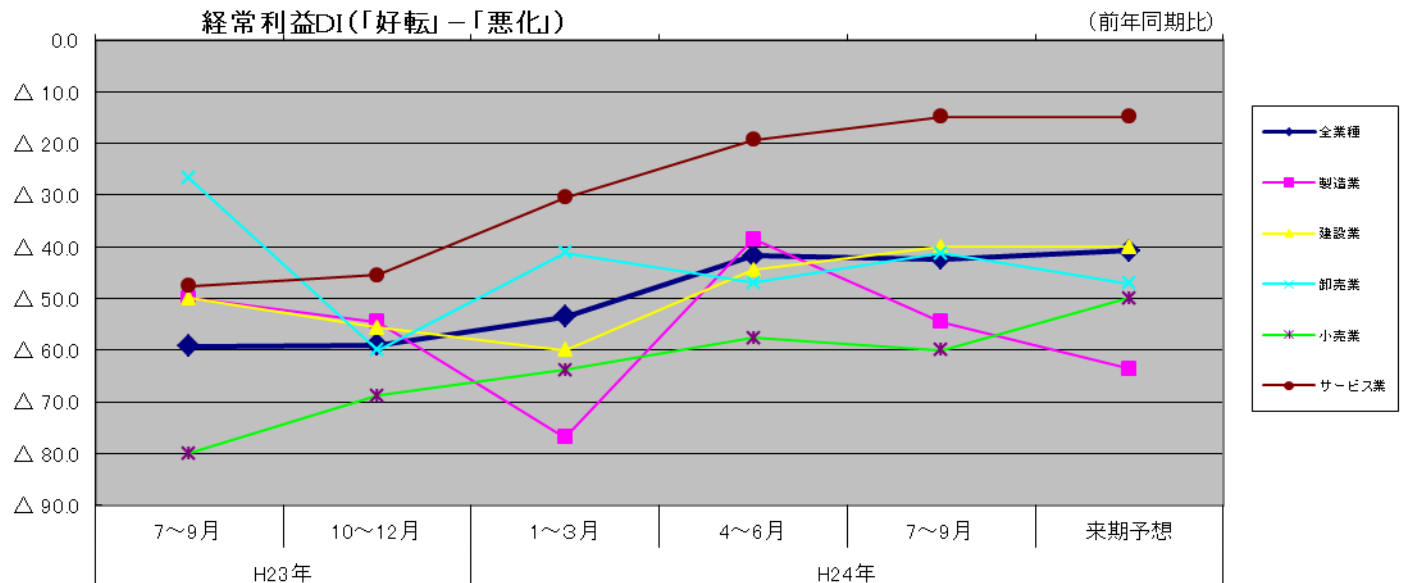
3. 採算(経常利益)

全業種の DI 値は、△42.4と前期(△41.8)に比べ0.6ポイントマイナス幅が拡大した。来期は、マイナス幅が縮小すると予想される。

業種別では、製造業でマイナス幅が拡大し悪化した。来期は、製造業・卸売業の改善の見込みはなく悪化する見通し。

	経常利益DI(「好転」-「悪化」)				(前年同期比)	
	H23年		H24年		7~9月	来期予想
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月		
全業種	△ 59.3	△ 59.0	△ 53.5	△ 41.8	△ 42.4	△ 40.8
製造業	△ 50.0	△ 54.5	△ 76.9	△ 38.5	△ 54.5	△ 63.6
建設業	△ 50.0	△ 55.6	△ 60.0	△ 44.5	△ 40.0	△ 40.0
卸売業	△ 26.7	△ 60.0	△ 41.1	△ 47.0	△ 41.2	△ 47.1
小売業	△ 80.0	△ 68.8	△ 63.9	△ 57.6	△ 60.0	△ 50.0
サービス業	△ 47.6	△ 45.5	△ 30.4	△ 19.3	△ 14.8	△ 14.8

経常利益DI(「好転」-「悪化」)

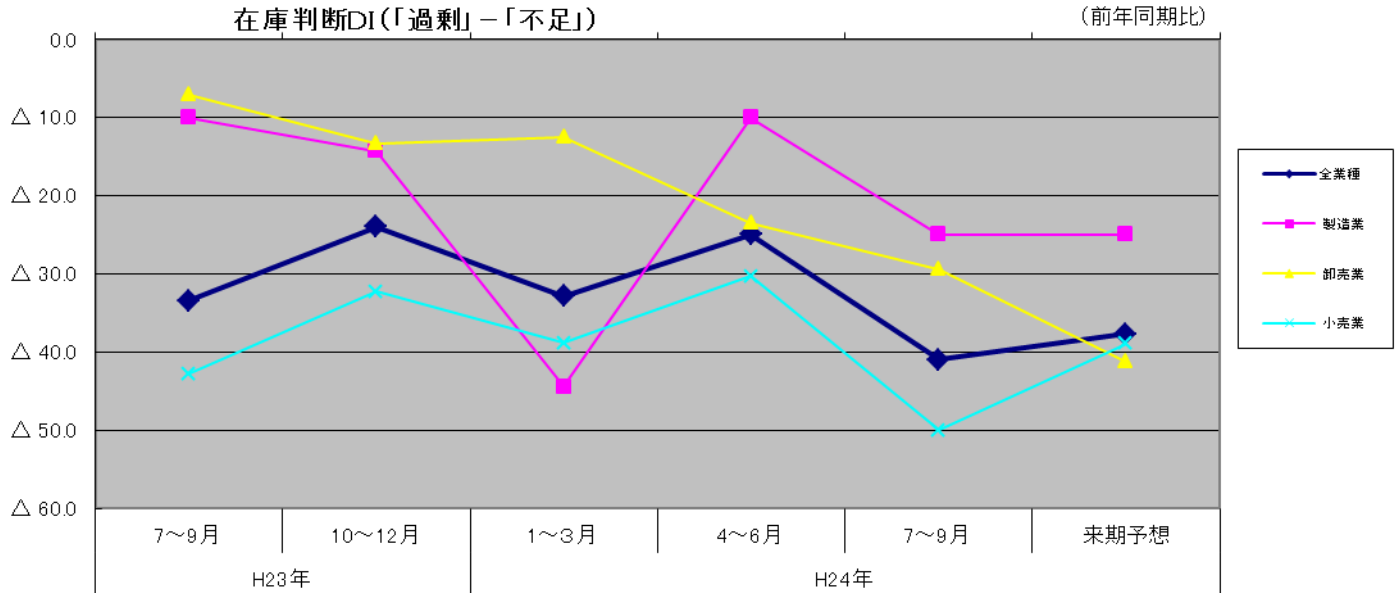


4. 製品・商品の在庫

全業種の DI 値は、△41.0と前期(△25.0)に比べマイナス幅が16ポイント拡大した。来期はマイナス幅が縮小され改善すると予想される。

業種別では、全ての業種でマイナス幅が拡大した。来期は卸売業のみマイナス幅が拡大する見通し。

	在庫判断DI (「過剰」-「不足」)				(前年同期比)	
	H23年		H24年			
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	来期予想
全業種	△ 33.4	△ 24.0	△ 32.8	△ 25.0	△ 41.0	△ 37.7
製造業	△ 10.0	△ 14.3	△ 44.4	△ 10.0	△ 25.0	△ 25.0
卸売業	△ 7.1	△ 13.3	△ 12.5	△ 23.5	△ 29.4	△ 41.2
小売業	△ 42.8	△ 32.3	△ 38.8	△ 30.3	△ 50.0	△ 38.9

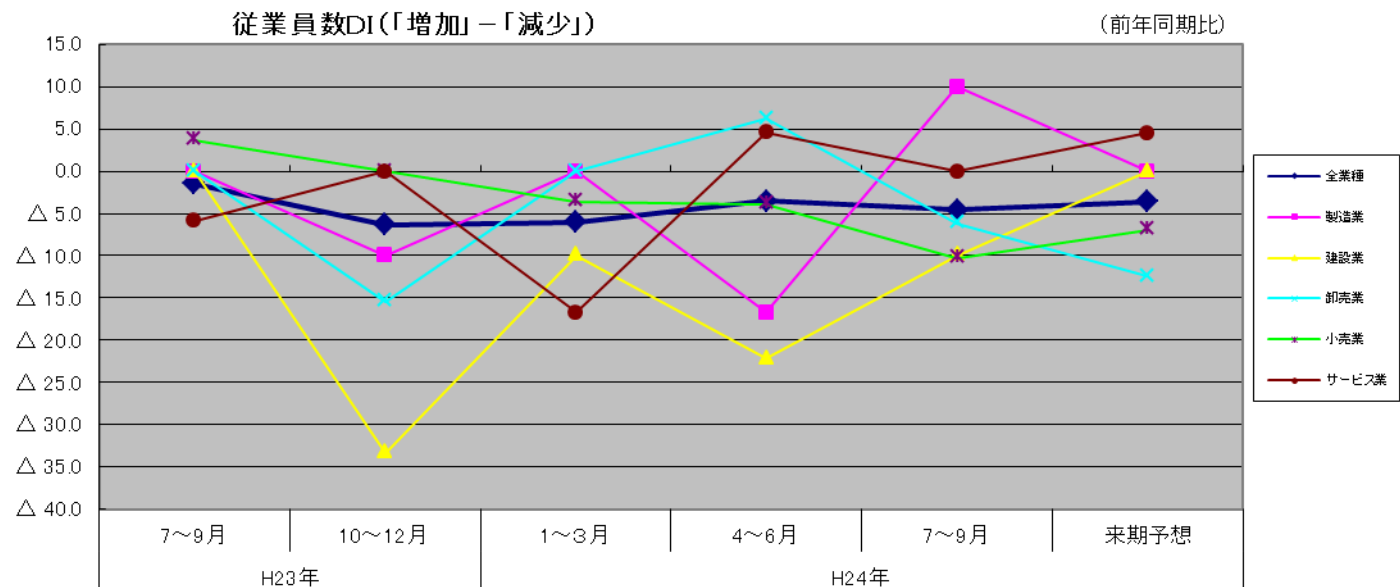


5. 従業員数 (臨時・パート含む)

全業種の DI 値は、△4.6と前期(△3.5)に比べマイナス幅が拡大した。

業種別では、小売業でマイナス幅が拡大した。来期は卸売業で大幅な減少が見通される。

	従業員数DI (「増加」-「減少」)				(前年同期比)	
	H23年		H24年			
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	来期予想
全業種	△ 1.5	△ 6.3	△ 6.0	△ 3.5	△ 4.6	△ 3.6
製造業	0.0	△ 10.0	0.0	△ 16.7	10.0	0.0
建設業	0.0	△ 33.3	△ 10.0	△ 22.2	△ 10.0	0.0
卸売業	0.0	△ 15.4	0.0	6.2	△ 6.2	△ 12.5
小売業	3.7	0.0	△ 3.6	△ 3.9	△ 10.3	△ 6.9
サービス業	△ 5.9	0.0	△ 16.7	4.6	0.0	4.5

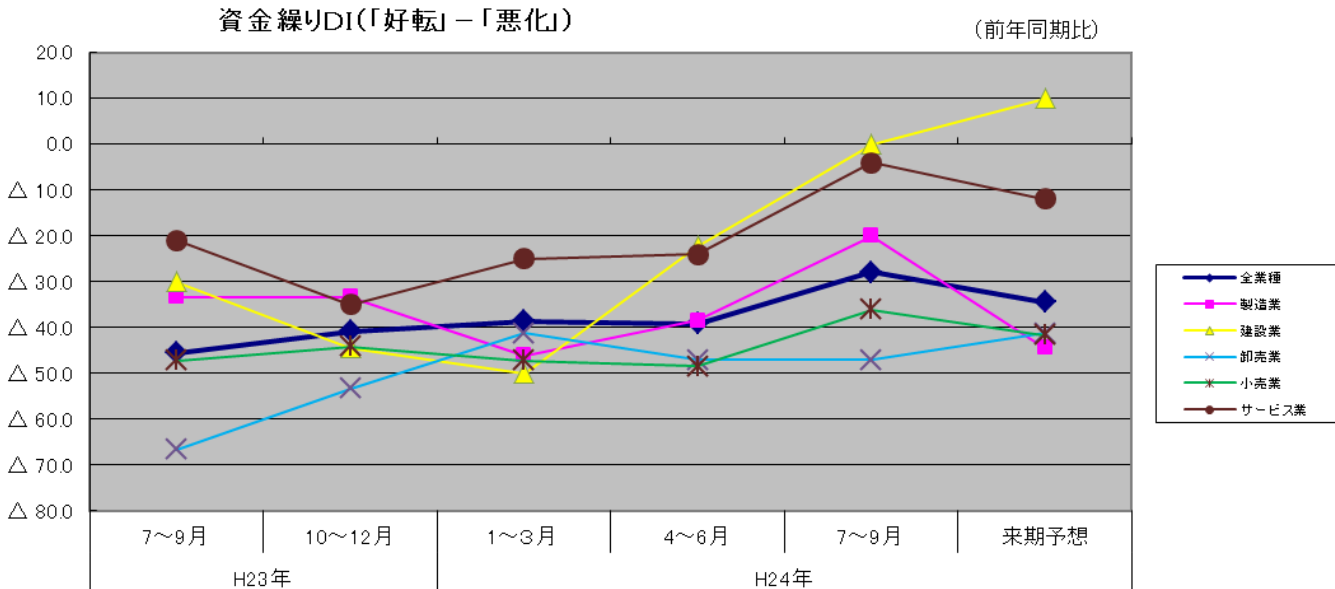


6. 資金繰り

全業種の DI 値は、△27.9と前期(△39.2)に比べ11.3ポイントマイナス幅が縮小した。来期は、今期よりマイナス幅が拡大する見通し。

業種別では建設業・サービス業において大幅にマイナス幅が縮小し改善がみられたが、来期は建設業・卸売業を除く全ての項目でマイナス幅が拡大し、厳しい状況が続く見通し。

	資金繰りDI(「好転」-「悪化」)				(前年同期比)	
	H23年		H24年		7~9月	来期予想
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月		
全業種	△ 45.5	△ 40.8	△ 38.6	△ 39.2	△ 27.9	△ 34.4
製造業	△ 33.3	△ 33.3	△ 46.1	△ 38.5	△ 20.0	△ 44.4
建設業	△ 30.0	△ 44.5	△ 50.0	△ 22.2	0.0	10.0
卸売業	△ 66.7	△ 53.3	△ 41.2	△ 47.1	△ 47.1	△ 41.2
小売業	△ 47.2	△ 44.1	△ 47.2	△ 48.5	△ 36.1	△ 41.6
サービス業	△ 21.0	△ 35.0	△ 25.0	△ 24.0	△ 4.0	△ 12.0



7. 経営上の問題点

前回の調査同様、製造業・卸売業・小売業で「需要の停滞」が上位に入っており、問題が顕著となっている。サービス業については、「需要の停滞」を抑え「利用者のニーズの変化」が1位に上げられている。今後、経営者は顧客の要望を的確に捉え対応することが求められる。また、建設業においては「人件・材料以外の経費の増加」が1位に上がった。要因として外注費または、設備リース費用の増加が考えられるが、今後の推移に着眼し調査を深めていく。

	今期直面している経営上の問題点				
	1位 (%)	2位 (%)	3位 (%)	4位 (%)	5位 (%)
製造業	需要の停滞	製品ニーズの変化	製品単価の上昇難	原材料価格の上昇	大企業進出競争の激化
	33.3 30.0	25.0 6.7	20.8 20.0	8.3 6.7	4.2 0.0
建設業	人件・材料費以外経費増加	請負単価の低下・上昇難	取引条件の悪化	民間需要の停滞	材料価格の上昇
	21.4 4.0	17.9 16.0	10.7 8.0	10.7 16.0	7.1 8.0
卸売業	需要の停滞	販売単価の低下・上昇難	仕入単価の上昇	事業資金の借入難	人件費以外の経費増
	28.3 23.4	17.4 19.2	10.9 8.5	10.9 6.4	6.5 2.1
小売業	需要の停滞	販売単価の低下・上昇難	消費者ニーズの変化	大企業進出競争の激化	購買力他地域への流出
	18.4 15.7	17.4 12.4	14.3 15.7	10.2 9.0	10.2 13.5
サービス業	利用者ニーズの変化	需要の停滞	大企業進出競争の激化	利用料金の低下・上昇難	新規参入業者の増加
	28.1 17.0	22.8 28.8	10.5 10.2	10.5 10.2	5.3 6.8